

東京大学 大学院工学系研究科
「水循環データ統融合の展開学（日本工営）」 寄付講座 最終報告会
「社会的利益の創出努力を踏まえたさらなる展開に向けて」

日時：2017年5月31日（水）15:30-17:50

場所：東京大学 工学部一号館 15号教室

気候の変化や人間活動由来の諸問題によって人間安全保障が脅かされる昨今、持続可能な開発と災害リスクの軽減を目指す国際的取り組みが進められている。日本工営株式会社のご支援を得て、2014年東京大学大学院工学系研究科に設置された寄付講座「水循環データ統融合の展開学（日本工営）」では、水循環分野を対象に、我が国が世界に先駆けて開発してきた「データ統合・解析システム（DIAS）」を用いて分野間連携の学術的基盤を確立し、様々なステークホルダーとの対話を活性化させ、経験や知識、アイデアを相互に交換し、協働を促進し、新たな公共的利益の創出努力を重ねてきた。またその実現のために、DIAS の概念を整理し広報活動を展開するための基礎を築き、人材教育プログラムを開発し、国際的な合意形成においても主導的役割を担ってきた。

本報告会では、斯界の先駆者で DIAS 開発リーダーでもある喜連川優教授をお招きしてデータサイエンスの最新の動向を共有し、3年間の寄付講座活動の成果を報告するとともに、今後の展開計画を紹介する。

- 15:30-15:50 開式挨拶
東京大学 大学院工学系研究科長 大久保 達也
東京大学 大学院工学系研究科 社会基盤学専攻長 加藤 浩徳
日本工営株式会社 取締役会長 廣瀬 典昭
文部科学省 研究開発局環境エネルギー課 環境科学技術推進官 樋口 晋一
- 15:50-15:55 記念写真
- 15:55-16:55 寄付講座活動報告
「データ統融合の展開に向けての DIAS 概念整理と広報」
「DIAS による統合的水文研究とその国際展開」
「DIAS による国際開発協力研究」
「DIAS による教育プログラムの開発」
「データ科学からの防災・減災における国際的協調への貢献」
水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM) センター長 小池 俊雄
東京大学 大学院工学系研究科 特任准教授 川崎 昭如
- 16:55-17:05 休憩
- 17:05-17:35 基調講演
「ソーシャル・ビッグデータと IT の新潮流：地球環境プラットフォームの未来」
国立情報学研究所 所長／東京大学 生産技術研究所 教授 喜連川 優
- 17:35-17:45 今後の展開について 東京大学 大学院工学系研究科 教授 池内 幸司
- 17:45-17:50 閉会挨拶
- 18:00-19:00 懇親会（立食形式、2階 16号教室）（会費：1,000円）

本報告会・懇親会への参加お申し込みは5月25日（木）までにメールにて、お願い致します。

寄付講座 担当 藤田(fujita@hydra.t.u-tokyo.ac.jp)まで